



# いずみさの昔と今 第246回

## 「考古学からみた泉佐野の特産品」

海に面した泉佐野市は、泉佐野漁港に代表されるように泉州の魚処として有名です。もちろん、海とかかわりの深いこの地域では、歴史的にみても漁業活動が盛んだったと考えられます。発掘調査で私たちが確認できるものはその一部に過ぎませんが、それでもこの地域の特徴的な遺物が出土し、その生業の一端をうかがい知ることが出来ます。

泉州では蛸壺がたくさん出土するので、蛸壺漁が盛んに行われていたことがわかります。海浜部に近い市内の湊遺跡では、古墳時代から奈良時代、中世の蛸壺が出土しています。これは素焼きの蛸壺を縄などで複数つないで海底に沈めておき、後で引き上げて中に入ったタコを捕らえる方法です。湊遺跡では古墳時代から奈良時代はイイダコ漁が主体で、平安時代後半からマダコ漁に変化していったようですが、一貫して蛸壺漁が営まれていました。効率が悪く、現在ではほとんど廃れてしまいま

したが、比較的近年まで行われていた漁法です。蛸壺の製造にかかわる遺跡としては、湊遺跡のほか、阪南市の田山東遺跡で中世の蛸壺焼成窯が検出されています。專業集団が計画的に蛸壺を生産し、漁村に供給していたようです。

泉州地方のもうひとつの特産品は塩です。弥生時代中期以降、瀬戸内東部を中心に製塩活動が盛んになっていきます。弥生時代後期以後は紀淡海峡沿岸部でも広く知られるようになり、本州側では泉州から紀州沿岸部にかけて多くの製塩遺跡が見つかっています。製塩方法は古くは土器を用いるもので、専用の製塩土器の中に濃い塩水を入れ、煮沸して塩を作る方法がとられていました。泉

佐野市内では湊遺跡、松原遺跡などで多くの製塩土器が出土しました。これらの遺跡では弥生時代後期から製塩が行われ、古墳時代前期まで継続しています。和歌山市の西庄（にのしょう）遺跡では古墳時代の製

塩石敷炉も見つかっています。

泉州地域の遺跡からは土鍾（どすい）も普遍的に出土します。土鍾は素焼きの土製のおもりで、網に多数の土鍾をつけて投網漁に使いました。

このように、遺跡から出土するさまざまな遺物から、昔の泉州人たちも海産物に大きく依存した生活を営んでいたことがわかります。当時の蛸壺や製塩土器は、春季特別展「卑弥呼の時代と泉州」において展示します。



▲湊遺跡の製塩土器

レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさの  
☎469-7140 Fax469-7141  
休館日 月曜日、祝日（祝日が月曜日の場合はその翌日、日曜日の場合はその翌々日）  
開館時間 午前9時～午後5時  
（入館は午後4時30分まで）  
入館料 無料

### 中世史講座

「中世の歴史を知る ～日根荘の時代背景～」

#### 第1回 土地制度の変遷

～日根荘成立前の土地制度と武士の誕生～

中世という時代を様々な視点から見て、日根荘が成立した時代背景を学んでいきます。

日時 6月26日(日)  
午後1時30分～3時（受付：1時～）

定員 60人（先着順）  
講師 吉村達也（スタッフ）

場所・申込・問合せ

6月7日(火)以降に直接または電話でレイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさのへ  
※受講無料



▲歴史館いずみさのキャラクターしょうくん(左)・ひねのちゃん(右)

### 春季特別展 特別講演会

#### 第2回 古墳のはじまり

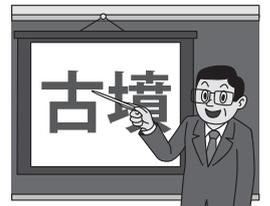
墓制の変化を中心に、弥生社会と古墳社会の違いを考えます。

日時 6月18日(土)  
午後1時30分～3時（受付：1時～）

定員 60人（先着順）  
講師 西村 歩（副館長）

場所・申込・問合せ

直接または電話でレイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさのへ  
※受講無料



### ◆歴史館いずみさのFacebookで情報発信中！

特別講演会の他にも、考古学講座やワークショップなどのイベント情報を発信しています。ぜひご覧ください！  
(<http://www.facebook.com/rekishikan.izumisano/>)